

川をめぐる文献

青木虹二

特集にちなんで、今回は河川に関する

文献を取りあげることにしたが、NDC分類によれば、河川の文献は、地理、地学、土木工学、農業にまたがり、尨大なので、ここではぐっと圧縮して、総説的な著書、紀行、農業水利のほかは、利根川と神奈川県河川の文献目録に限定した。

総説

- 文献目録では、
- 国立国会図書館調査立法考査局編「治水および水害関係資料集」(一九六一)
- 農業水利問題研究会編「農業水利文献解説」(一九五九)
- 農林省図書館編「農林文献解題―農業水利編」(日本農業文庫、一九六七)
- 新書版の概説書には、次のものがある。
- 高橋裕「日本の水資源」(東大新書、一九六三)
- 同「国土の変貌と水害」(岩波新書、

- 一九七一)
- 古島敏雄「土地に刻まれた歴史」(岩波新書)
- 鶴見川の記述がある
- 小林純「水の健康診断」(岩波新書、一九七一)
- 佐藤武夫「水の経済学」(岩波新書、一九六五)
- 次は、一般的な概説書である。
- 佐藤武夫「水害論」(三一書房、一九五八)
- 同「水利経済論」
- 安正正巳「水の経済学」(日本経済新聞社、一九七五)
- 堀越正雄「日本の上水」(新人物往来社、一九七〇)
- 小出博「日本の河川―自然史と社会史」(東大出版会、一九七〇)
- 同編「日本の水害」(東洋経済新報社、一九五四)

- 小笠原和夫「山と水の自然」(古今書院、一九六九)
- 山根登「水と環境」(大日本図書、一九七三)
- 市川正巳「水文学の基礎」(古今書院、一九七三)
- 産業計画会議「水資源をどうする」(大成出版社、一九七一)
- 中沢式仁「水資源の話」(日本経済新聞社、一九七四)
- 籠瀬良明「自然堤防」(古今書院、一九七五)
- 洞沢勇「水の汚濁と浄化」(理学書院、一九七三)
- 専門書、資料集では、
- 日本河川協会編「わが国の河川」(一九五九)
- 水利科学研究所編「水経済年報」(林野共済会、一九五四)
- 同「水利学大系」八冊(地人書館、一九六二)
- 丸山速夫、外編「下水道講座」(鹿島出版会、一九七六)
- 首都圏整備委員会編「水需給調査報告書」(一九六六)
- 蠟山政道編「首都圏の水資源開発」(東大出版会、一九六八)
- 建設省河川局編「水資源開発総合計画」(一九六六)
- 公害問題研究会編「水質汚濁問題とその対策」(積文堂、一九六九)
- 同「河川総合開発調査実績概要」九冊
- 西川喬編「河川管理の理論と実際」(山海堂、一九六九)
- 土本善平「只見川開発をめぐる紛争史」(東京出版センター、一九六九)
- 小出博「日本の河川研究―地域性と個性」(東大出版会、一九七二)

紀行

- 歴史・地理関係で川を主題にした著書で、最近刊行のものをあげると、
- 山本脩「川の旅」(読売新聞社、一九六八)
- 駒敏郎「川の日本史」(新人物往来社、一九七四)
- 西野辰吉「石狩川紀行」(日本放送協会出版部、一九七五)
- 北苑社編「小樽運河」(北苑社、一九七五)
- 岩手放送編「北上川」(IBC開発センター、一九七五)
- 読売新聞社編「最上川―歴史と文化」(都文堂書店、一九六九)
- 赤松宗旦「利根川図志」(岩波文庫、一九七一)
- 小出博「利根川と淀川」(中公新書、一九七五)
- 市川健夫「千曲川信濃川」(農山漁村文化協会、一九七三)

毎日新聞社編「母なる信濃川」(北陸建設弘済会、一九七〇)

宮本常一「私の日本地図——天竜川に沿って」(同文館、一九六七)

市川健夫「天竜川」梓・犀川・姫川(農山漁村文化協会、一九七四)

中日新聞社編「天竜川」(中日新聞社、一九七五)

徳永隆平「永遠の飛鳥川」(日本放送協会出版部、一九七二)

藤岡謙二郎「大和川」(学生社、一九七二)

芳水康史「吉野川・利水の構図」(芙蓉書房、一九七〇)

松宮勝「川とふるさと——神戸」(一九六〇)

農業水利

農業水利問題については、研究書と用水史にわけてみる。

喜多村俊夫「日本灌漑水利慣行の史的的研究」総論編・各論編(岩波書店、一九五〇、七三)

永田恵十郎「日本農業の水利構造」(岩波書店)

渡辺洋三「農業水利権の研究」(東大出版会、一九五四)

農業水利問題研究会編「農業水利秩序の研究」(御茶の水書房、一九六一)

新沢嘉芽統「農業水利論」(東大出版

会、一九五五)

同「河川水利調整論」(岩波書店、一九六二)

金沢夏樹「稲作の経済構造——その停滞的要因と水利」(東大出版会、一九五四)

増山芳郎「農業水利紛争の解決の理論と実際」(一九五八)

亀田隆元「日本古代用水史の研究」(吉川弘文館、一九七三)

宝月圭吾「中世灌漑史の研究」(目黒書店、一九五〇)

馬場昭「水利事業の展開と地主制」(御茶の水書房、一九六五)

農林省農地局編「農業水利慣行の研究」(一九五六)

農林省農地局編「農業水利紛争調査」(一九五三)

同「農業水利実態調査書」(一九五七)

つきに全国各地の用水史のうち、著名のものは、

「明治用水」二冊(一九五三) 愛知

「宮田用水史」四冊(一九四四) 同

「愛知用水史」二冊(一九六八) 同

「豊川用水史」二冊(一九七五) 同

坂井誠一「牛ヶ首用水史」(一九五二) 富山

三枝善枝「徳島堰」(一九五八) 山梨

堀江祐司編「備前堀——北関東における用水史の研究」(一九六九) 群馬

「印旛沼開発史」二冊(一九七二)千葉

佐藤誠郎「赤川史」(一九六六) 山形

「東京市史稿」上水篇

「岐阜県史」史料編近世五治水・用水(一九六七)

新潟県の場合は、用水よりも排水が問題であるが、次の二書がくわしい。

「白根郷治水史」二冊(一九五二) 三)

鳥谷仁編「亀田郷治水史」(一九六六)

利根川

利根川については、九学会連合・利根川流域調査委員会編「利根川——自然・文化・社会」(東大出版会、一九七一)が包括的な著書としてしられるが、巻末の「利根川流域関係文献目録」は網羅的で、便利にできている。次は主として目録からの抜書。

吉田東伍「利根治水論考」(三省堂、一九一〇)

栗原良輔「利根川治水史」一〜八(河川一九五六・三〜一二)

末松栄「利根川の解析」(一九五五)

「大利根用水事業史」三冊(一九五八)

大蔵省主計局編「利根川水系水利計画について」(一九六〇)

農林省東京農地事務局編「利根川水系経済調査報告書昭三一」三冊(一九六一)

国土開発調査会「利根川——その治水と利水(増補改訂版)」(一九六〇)

君塚貢「利根川の変遷と改修問題」(一九五二)

川名勝雅「利根川の治水史」(一九五二)

科学技術庁資源局編「利根川総合水利計画」(一九五九)

農林省関東農政局編「利根川流域における農業水利の展開と農業発展」(一九六五)

稲田裕「利根川水利と河川流況について」(水利科学、一九六〇・三)

佐々木四郎「利根川における農業水利上の問題点」(同右、同四)

佐藤俊朗「利根川の治水史について」(同右、一九六一)

飯島博「利根川」正統(三一書房、一九五八〜五九)

「地理」第一一巻四号特集利根川(一九六六)

経済企画庁資源局編「利根川水系に依存する将来の水需要量等」七冊(一九六五)

神奈川県下の河川

県下全般にまたがる資料には、

神奈川県編「土地及び水資源に関する総合計画」(一九五九)

同「水系別河川水質調査年報」(一九六五)

同「水系工事実施基本計画」(一九六七)

同「神奈川県災害誌(自然災害)」(一九七二)

同「神奈川県水防計画」

小川浩「神奈川県下の用水事情について」(用水と廃水、一九六一)

一 相模川

溝口三郎「相模川水利統制計画の過去及び現在」(丸山書店、一九四九)

神奈川県編「相模川河水統制事業史」(一九五二)

同「水質汚濁防止相模川調査報告書」(一九五六)

建設省河川局編「相模川水系河川現況調査」二(一九五六)

神奈川新聞社編「相模川」(一九五八)

神奈川県編「相模川水系利水現況調査報告書」(一九五九)

同「相模川総合開発事業」一、二(水道協会雑誌、一九六五)

窪田定衛「相模川の問題点」上(河川一九六二・三)

山崎寿雄「秦野盆地の水源について」(東北地理、一九六二・三)

神奈川県編「相模川の砂利」(一九六六)

六) 同「相模川水系河川及び工場廃水調査結果報告書」(一九六七)

土木学会編「相模川河口調査報告書昭三五〜四四」(一九七〇)

相模川をきれいにする協議会編「相模川」一、二、三、四(一九七三〜七四)

二 酒匂川

建設省編「酒匂川水系河川現況調査」二(一九五五)

神奈川県編「稲作経営と農業水利慣行」(一九五六)

同「狩川流域における農地災害調査」(一九五六)

同「酒匂川総合開発基礎調査中間報告書」(一九六二)

同「酒匂川における水利調整の現状と将来」(一九六五)

同「酒匂川総合開発基礎調査報告書」(一九七三)

酒匂川水系保全協議会編「酒匂川」一、二(一九六六)

酒匂川水系水質調査・流量調査成績表を連載している。

三 多摩川

山田蔵太郎「稲毛川崎二ヶ領用水事蹟」(一九三〇)

建設省編「多摩川水系河川現況調査」(一九五五)

石井光太郎編「溝ノ口村用水騒動録」(経済と貿易、一九五九)

滝井孝作編「文学に見る日本の川」多摩川」(日本週報社、一九六〇)

建設省編「多摩川・鶴見川河川水質調査報告書」(一九六四)

川崎市立宮内中学校編「ほくらの多摩川」科学クラブ七カ年の歩み」(一九六五)

華山謙「多摩川の水利」その史的展開」(一九六五)

横山理子編「多摩川の自然を守る」(三省堂、一九七三)

加藤進「都市が滅ぼした川」多摩川の自然史」(中公新書、一九七三)

平田徳太郎「多摩川水源地の水文学的研究」(水利科学、一九五八・三)

四 横浜地域の河川

建設省編「鶴見川水系河川現況調査」(一九五三)

日本建設コンサルタンツ株式会社編「帷子川水系新田間の一部および幸川埋立に伴う水理権付」(一九六五)

横浜市計画局編「港北ニュータウンの自然および立地条件に関する基礎調査」(一九六八)

竹内治利・佐久間道夫「鶴見川誌」

「鶴見村誌」(一九七〇〜七二)

神奈川県編「都市化による柏尾川流域等への影響調査」二(一九七三)

横浜市公害対策局編「横浜市内河川流域の水質汚濁と生物」(一九七四)

同「横浜水質環境総合調査」一、鶴見川を対象として」(一九七五)

この外、郷土史のなかで、治水・用水についてふれているものには、

横浜市編「横浜史」第一巻(一九五八)

第八章治水・利水の発展と農村で、鶴見川・大岡川・帷子川について述べている

「都田村外一ヶ村普通水利組合史」(一九二六)

「都田村誌」(一九二九)

水利及び治水の章がある

戸倉英太郎「統都筑の丘に拾う」(一九五五)

水訴史の章で、鶴見川上流部の水論を紹介している

「中里郷土史」(一九六九)

水利と水論の章があるが、史料は戸倉氏と同一である

「統田奈の郷土誌」(一九六六)

下長津田の水利を紹介

「保土谷区郷土史」統(一九三八)

帷子川の用水を紹介

「港北百話」(港北区役所、一九七六)

鶴見川にまつわる話、耕地と灌漑